ユニークユーザー識別子のハッシュ化

概要

このソリューションは、情報が当社の分析サーバーに送信される前にクライアント側でエンドユーザー識別子をハッシュ化し、WalkMe分析プラットフォームであるInsights内でエンドユーザーが匿名化されるようにします。これは、システムごとに実装されるため、必要に応じて、システムごとに異なるハッシュ化関数を適用できます。
Unique User Settings（ユニークユーザー設定）の詳細についてはこちらをご覧ください。

デフォルトのユーザー識別子機能

WalkMeに送信されるすべての分析イベントには、イベントがWalkMeインサイトのユーザーのアクティビティに紐付けられるように、ユーザー識別子がプロパティとして添付されます。

識別子のハッシュ化

エンドユーザー識別子の収集にセキュリティレイヤーを追加するために、設定でこの識別子の値をハッシュ化できます WalkMeは、SHA256ベース64 + SALTをサポートします。

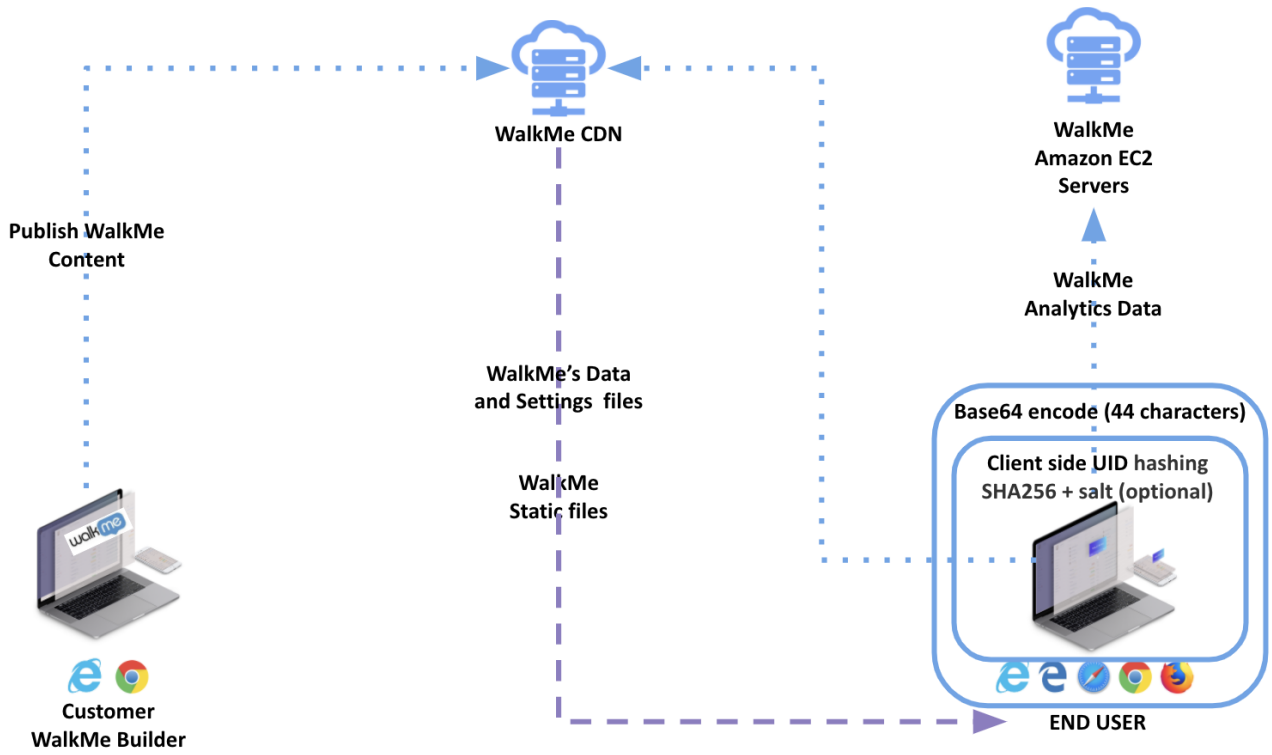
SALTは、データ、パスワード、またはパスフレーズをハッシュ化する一方向性関数の追加入力として使用されるランダムデータです Saltは、ストレージ内のパスワードを保護するために使用されます WalkMeは、識別子のハッシュ化で使用するためにこのSALTをクライアント側に保存します。

SALTが定義されていない場合、この機能は通常のSHA256ハッシュ化アルゴリズムを使用します。 元のエンドユーザー識別子は、WalkMeインフラストラクチャ内のどこにも表示されず、保存されません。ハッシュ化関数は、エンドユーザーのウェブブラウザ上でクライアント側で実行され、エンドユーザーのブラウザからWalkMeインフラストラクチャへのすべての通信はハッシュ化されたUUID値を送信するだけです。

例

IDプロバイダーは、エンドユーザーの識別子として**adam.br**の値を送信します。 そのユーザーのUUID値は、基本的なハッシュアルゴリズムのみを用いて**LxhaMQBuA3cjHQqujqUmW/YDuHkWuCFjsT2uXs7lDQY**としてWalkMeサーバーに保存されます。

ハッシュ化プロセス – 技術フロー



エンドユーザーIDのハッシュ化を適用してもWalkMeアーキテクチャには影響がなく、同じルールと設定が適用されます。

この機能は、クライアント側のマシンで動作しているWalkMeプレーヤーの一部として適用されます。この機能が適用されるとWalkMeプレーヤーはハッシュ化アルゴリズムを実行しますWalkMeサーバーに送信されるすべての分析イベントは、一意のハッシュ化されたユニークユーザー識別子とともに送信されます。

注

この機能にご興味のある方は、WalkMeの担当者にご連絡ください。